

## 県政の動き

2月1日(月)～4月20日(火)

2月1日(月)～3月31日(水)

篤姫のひなまつり

2月18日(木)

★天竜浜名湖鉄道と肥薩おれんじ

鉄道レール交流協定締結

2月24日(水)

若者のための就職面接会

3月6日(土)

県立保健看護学校の卒業式

および閉校式

3月7日(日)

東北における本格焼酎販路開拓

キャンペーン

3月9日(火)

春季就職面接会

3月13日(土)～14日(日)

★かごしま海外旅行博

3月14日(日)

★ひつこへかごしま2010

共生・協働フェスティバル

3月14日(日)

春の郷土に学び・育む青少年運動

「あいさつ・声かけ実践街頭キャン

ペーン」

3月14日(日)

★東九州自動車道(曾於弥五郎IC

～末吉財部IC間)開通

3月15日(月)

★知事と語る会(肝付町岸良)

3月16日(火)

かごしま地域塾推進大会

3月18日(木)

★第28回全国都市緑化かごしまフェ

ア(花かごしま2011)1年前祭

3月19日(金)～20日(土)

★「鹿児島さくらWeek」における

知事トップセールス

3月22日(月)

九州新幹線博多・新八代間レール

締結式

4月8日(木)

第33回鹿児島県立農業

★は写真入りで紹介

2月18日(木)

## 天竜浜名湖鉄道と肥薩おれんじ鉄道レール交流協定締結



左から古木社長、伊藤知事、名倉社長

**本** 県と静岡県は、平成21年7月から定期航空路線が就航し、両県の交流がますます活発化している。

平成22年2月18日、薩摩川内市と八代市を結ぶ肥薩おれんじ鉄道(本社・熊本県八代市、古木圭介社長)は天竜浜名湖鉄道(本社・静岡県浜松市、名倉健三社長)と「レール交流協定」を締結した。両社とも第三セクター鉄道として共通の課題をもっており、また沿線地域の活性化に重要な役割を果たしていくことなどで認識が一致したことから、この度の締結に至った。

両社長は熊本県庁で調印式を行った後、本県の伊藤知事を表敬訪問した。

今後、情報交換や観光交流企画商品の共同開発などを進め、相互の経営改善や利用客拡大のために協力・連携していくこととしている。

3月13日(土)～14日(日)

## かごしま海外旅行博



**3** 月13日と14日の2日間、鹿児島市の天文館本通り・天文館ひらもーるにおいて、「かごしま海外旅行博」を開催した。この旅行博は、県民の方々に海外旅行の素晴らしさや身近さをPRすることにより、ソウル線や上海線などの鹿児島空港発着の国際線の認知度向上と利用促進を図るもの。

当日は、各国・地域政府観光局など12の団体が出展し、最新観光情報の提供や民族衣装体験のほか、世界の観光地を背景に記念撮影ができるフォトサービス、ソウル線・上海線の往復へ航空券などが当たるクイズラリーも行われた。

また、ステージ上では、上海万博のPRや国際色豊かなステージパフォーマンスなども行われ、両日とも多くの来場者でにぎわった。

3月14日(日)

## ひっとべかごしま2010 ～共生・協働フェスティバル～



**手**をつなぐ、想いをつなぐ、みんなの力をテーマに、共生・協働の地域社会づくりの普及と社会貢献活動団体の活動を多くの県民の皆さんに知っていただくために「ひっとべかごしま2010」共生・協働フェスティバルをかごしま県民交流センターで開催した。当日は、本県出身の俳優榎木孝明氏によるトークライブや、県内のNPOなど89団体が参加し、展示のほか、体験イベントや研修会・発表などの催しを行い、約3500人の来場者でにぎわった。

3月14日(日)

## 東九州自動車道(曾於弥五郎IC～末吉財部IC間)開通

東九州自動車道の曾於弥五郎IC～末吉財部IC間(11.1km)が無料開通した。これにより、産業や観光の振興など、大隅地域の浮揚発展が期待される。

当日は、地元の保育園児が参加するテープカットやパレードなどにより、開通を祝った。

また、開通を目前に控えた3月7日には、開通記念イベントのウォーキング大会が開催され、約1200人の参加者が開通前の高速道路からの景観を楽しんだ。



3月15日(月)

## 知事と語る会(肝付町岸良)



そらまめ農家を視察

また、知事は語る会にあわせて、肝付町内のそらまめ農家などの視察や岸良小学校、岸良中学校、川上中学校の児童生徒との交流を行うとともに、錦江町内の視察も行った。

肝付町(当時、内之浦町)では、平成16年8月以来約6年ぶりの開催となり、地域づくりについての取り組みの報告や、少子高齢化など地域の課題をはじめとするさまざまな質問・要望があり、伊藤知事とひざを交えて活発に意見を交換した。

肝付町(当時、内之浦町)では、平成16年8月以来約6年ぶりの開催となり、地域づくりについての取り組みの報告や、少子高齢化など地域の課題をはじめとするさまざまな質問・要望があり、伊藤知事とひざを交えて活発に意見を交換した。

肝付町(当時、内之浦町)では、平成16年8月以来約6年ぶりの開催となり、地域づくりについての取り組みの報告や、少子高齢化など地域の課題をはじめとするさまざまな質問・要望があり、伊藤知事とひざを交えて活発に意見を交換した。

肝付町(当時、内之浦町)では、平成16年8月以来約6年ぶりの開催となり、地域づくりについての取り組みの報告や、少子高齢化など地域の課題をはじめとするさまざまな質問・要望があり、伊藤知事とひざを交えて活発に意見を交換した。

肝付町(当時、内之浦町)では、平成16年8月以来約6年ぶりの開催となり、地域づくりについての取り組みの報告や、少子高齢化など地域の課題をはじめとするさまざまな質問・要望があり、伊藤知事とひざを交えて活発に意見を交換した。



「知事と語る会」の様子



3月18日(木)

## 第28回全国都市緑化かごしまフェア(花かごしま2011)1年前祭

今後、かごしまフェアの開催に向けて、県内外での広報宣伝や観客誘致に積極的に取り組んでいく。

成23年3月18日から5月22日まで66日間開催する花と緑の大博覧会「第28回全国都市緑化かごしまフェア(愛称:花かごしま2011)」の機運醸成をはかるため、多くの県民・市民参加のもと、「1年前祭」を鹿児島中央駅前アミュ広場と鹿児島空港で開催した。

地元幼稚園・保育園児による力強い太鼓演奏によるオープニング後、広報宣伝活動を行うフラワーエンジェルかごしまのお披露目、花緑ボランティアリーダーの紹介、前売入場券販売開始セレモニーのほか、カウンタダウンボードの点灯式を行い、開催まで「365」日が表示された。



3月19日(金)～20日(土)

## 「鹿児島さくらWeek」における知事トップセールス

会の冒頭、旅行会社のトップからは「鹿児島への送客に力を入れます」とのあいさつがあり、また多くのマスコミ関係者からは、「早速記事にしたい」という声も聞かれるなど、大きな反響があった。

では、2011年3月の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を周知するとともに、本県の「食」や「観光」など「本物。鹿児島県」の魅力を広くアピールするため、山陽・九州新幹線「さくら」の始発駅となる大阪を中心に、「鹿児島さくらWeek」を実施した。

また、今回のイベントに合わせて「知事トップセールス」も実施した。主要旅行会社およびJR西日本、JR九州の幹部らとの意見交換会では、九州新幹線全線開業に向けた取り組みを説明するとともに、本県の観光や食の魅力をPRした。



鹿児島県の食と観光体験会における知事あいさつ

### 県

線鹿児島ルートの全線開業を周知

### さくらフェア



さくらフェアの実施状況



さくらフェアオープニングイベント

20日には、農林水産物や特産品、観光など、本県の多彩な魅力を大阪の方々にPRするため、大阪府豊中市において、物産観光展「さくらフェア」を実施した。知事は、イベントステージにおいて、観光大使らとともに、九州新幹線全線開業をPRした。会場では、本県の特産品が多数販売され、大変な賑わいであった。来客者からは、「鹿児島にこんなにいいものがあるなら一度は行ってみたい」、「鹿児島まで新幹線で4時間でいけるなんてすごい」などの声が聞かれた。